ひまわり

Vol.23
2017.3.1

特集

男女共同参画社会の実現に向けて
日本は111位!?
～ジェンダーギャップ指数でみる世界と日本～



油絵「ひまわり」清水　信二さん（久保島）

第11回　熊谷市男女共同参画推進表彰

昨年11月に開催した「第37回　フォーラムくまがや２０１６」において、男女共同参画の推進に貢献する取組が評価され、２つの事業所が表彰されました。

本表彰は、熊谷市男女共同参画推進条例の規定に基づくもので、平成18年度から実施しており、男女共同参画社会の実現に向け、積極的に男女共同参画の推進に関する取組を実施している個人・団体及び事業所を表彰するものです。（掲載順不同）

株式会社　ニコンスタッフサービス　第1製造部

従来男性が占めていた光学機器の製造部門に女性を配置し、支援育成して女性の管理職を登用しています。これまで男性の仕事と認識されていた仕事について、女性にもできるという意識が浸透し、徐々に女性従業員が増加しています。

また、男女を問わず、技術向上、能力開発のための研修及び国家資格取得の支援を実施しています。



株式会社　ヘリテイジリゾート

今まで女性を配置していなかった部署への配置転換を進めるとともに、積極的に女性の幹部登用を行い、女性のリーダー育成に力を注いでいます。

また、週１回女性社員のみの会議を開催し、女性の視点を生かした業務改善のためのミーティングや講義形式の研修等、様々な取組を行い、スキルアップを図っています。



輝いてます！
街で出会ったいきいきさんをご紹介します

松井　貞夫さん（円光）
人生の第二ステージは「きりえ」



今から四十数年前、松井さんが三十歳代の頃、新聞の日曜版にきりえ作家滝平二郎氏の作品が連載されていました。古き良き日本の風景と着物姿の少年少女が描かれた作品に、松井さんは得も言われぬ郷愁と、深い感動を覚えたと言います。

以来、忙しい教師の仕事の合間に、小品を作り始めます。きりえへの情熱は高まり、平成六年から三年間、通信講座のきりえ教室で勉強し、定年退職を機に本格的に創作活動に入られました。

きりえは、まずデッサン、白黒の下絵作り、下絵に重ねた黒和紙をカッターで切る作業、色和紙を張る作業など、いくつもの緻密な工程を経て完成します。大作ですと完成に数か月かかる事も。

細かい作業の連続でお疲れになりませんか、とお尋ねすると、「紙を切っている時は夢中になれます。楽しいことをやっているのですから疲れませんよ。」とにこやかに答えてくれた松井さん。



きりえ作品「空よ」

現在、肥塚公民館や荒川公民館を会場としたきりえ教室の講師も務められ、美術展に入選される生徒さんも輩出しています。また、昨年十二月には、十二回目となる個展も開催。ライフワークとなっている童謡や青春歌をテーマにした作品が展示されました。

心の中に懐かしい思い出を蘇らせてくれるような松井さんのきりえ作品。描きたいテーマがまだまだたくさんあるとのこと。次回の個展に向けて、毎日紙と向き合う日々をお過ごしです。

パープルリボン　キャンペーン

「女性に対する暴力をなくそう」という国際的なキャンペーンのシンボルであるパープルリボン（むらさき色のリボン）。

みんなの思いを集めて、ＤＶのない社会にするため、男女共同参画推進センターを訪れた方に、むらさき色のテープでリボンの形を作っていただき、タペストリーの袋の中に入れてもらいました。

このタペストリーは、キャンペーンに参加した埼玉県内の市・町を順番に回り、熊谷市には平成28年10月27日から31日まで展示されました。



ひとりで悩んでいるあなた、一度相談してみませんか？

◆ハートピア相談室　☎048-599-0015

相談名	相談日	時間
電話相談・面接相談（予約不要）	月～金曜日 第１・第３土曜日（祝日、年末年始を除く）	9:00～17:15
弁護士による相談（要予約）	隔月１回（奇数月）	10:10～11:40
臨床心理士による相談（要予約）	毎月１回(第4金曜日)（祝日の場合は変更）	9:00～16:00
保健師による相談（要予約）	毎月２回（第2・第3水曜日）（祝日を除く）	13:30～15:30

（各相談とも、無料・秘密厳守）

配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力（ＤＶ）に悩んでいる方、自分が我慢すればと思わずに、相談してください。

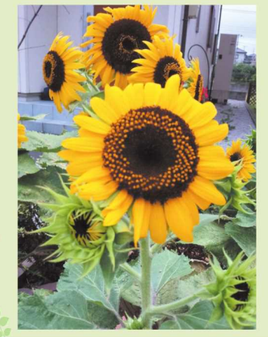
ＤＶはくり返されることが多く、犯罪にもなりうる行為です。

どんな小さなことでも、相談員がお聴きし、一緒に考えます。

電話相談は匿名でもお受けしていますので、まずはお電話ください。

「smile」

K・Kさん（船木台）撮影



編集後記

知らなかったフィリピンの話が聞けて、楽しい取材でした。私もポジティブ＆タフな人間を目指します。　松崎　恵子

特集の指数。日本が男性社会だと突き付けられた気がして一瞬ショックでした。でも、皆さんと考えるきっかけになればと思います。　秋元　留美子

「袖すりあうも他生の縁」という言葉がありますが、今回は、まさにご縁に導かれての取材でした。素敵な出会いに感謝です。　清水　治美

日々ご多忙のところ、「ひまわり」の写真等の提供や取材の依頼を快く受けてくださった皆様に感謝しております。　柴生田　幸子

男女共同参画という言葉は聞いたりしてもなかなか意識することはありませんでしたが、初めて編集に携わり大変勉強になりました。　新井　祐助

＊＊＊募集＊＊＊

★表紙やカットとして掲載する「ひまわり」の絵・写真・その他の作品を募集します。

★「輝いてます！」（市内で活躍されている方の紹介）のコーナーに登場してくださる方を募集しています（自薦・他薦は問いません）。

※両募集とも、応募多数等により掲載にならない場合がありますが、どうぞご了承ください。

★本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

【応募・問い合わせ】

〒360-0037
熊谷市筑波二丁目202番地ティアラ21（4階）
熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
・TEL　048-599-0011
・FAX　048-599-0012

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆インキ
■発行日　平成29年３月１日（年２回発行）　■発行　熊谷市　■編集　男女共同参画室（ハートピア内）・「ひまわり」編集員会
「ひまわり」Vol.23 は、71,000 部作成し、印刷・製本にかかる市の負担は、１部当たり 4.6 円です。